

POPOLA ぽぽらだより

モヤモヤを、ワクワクに。

「ぽぽらだより」は、春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）が発行するまちづくりや市民活動を広めるためのフリーペーパー（広報誌）です。ぽぽら春日部は、まちの課題に取り組み、市民の暮らしに新たな価値を生む公益的な活動を応援する施設です。地域のための活動をしている人、何かを始めたい人がつながっていく場所でもあります。皆様のご利用をお待ちしています。

発行元 春日部市市民活動センター
(指定管理者：(株)コンベンションリンケージ)
年4回発行

2026 冬号
vol.57

2/14

シンポジウム

『自治会×市民活動の可能性』

笑いあえたら元気になれる
ぽぽらフェスティバル 2025

第1回 4月28日(火) 開国運動がなぜ群馬運動に変わったか
第2回 5月12日(火) 明治維新の流れ

市民活動見本市開催中！

詳細は →
こちらから



ふれあいキューブ 4F、ぽぽら春日部の交流・ミーティングスペースにて市民団体の日々の活動をリレー形式で展示しています。ご来場をお待ちしています。

第1期	1/19 ~ 1/31	第2期	2/2 ~ 2/14
第3期	2/16 ~ 2/28	第4期	3/2 ~ 3/14

表紙：ぽぽらフェスティバル 2025（撮影協力：粕壁写真クラブ）

ぽぽらフェスティバル 2025

笑顔があふれる市民活動の祭典

『ぽぽらフェスティバル 2025』が、12月6日（土）と7日（日）の2日間にわたり開催されました。本番前の11月30日（日）には、ララガーデン春日部「みんなの広場」で告知のためのプレイベントを開催。2日間を通じてたくさんの方にご来場いただきました。当日は過去最大の57の市民団体が出展し、体験や飲食、展示、ステージなどのエリアに分かれて日頃の活動をPR。同時開催の「ふれあいキューブフェスティバル」や「健康フェア（保健センター）」にも多数の来場者があり、全館をまわるスタンプラリーも好評で、協働で準備を進めてきたからこそその盛り上がりを感じるイベントとなりました。

また、3Fにて実施した特別企画「サンタツリー・サンタさんへのメッセージ」は子どもたちから大人までたくさんの市民の皆さまに楽しんでいただくことができました。



実行委員長インタビュー

センターの登録団体である以上、自分たちの活動を市民に還元する

2023年から3期実行委員長を務めた今村二郎さん（写真最前列右から3番目）に今年のぽぽらフェスティバルの感想を伺いました。

実行委員長、お疲れ様でした。今年のフェスティバルの手応えをお聞かせください。

今回は出展団体の皆さんに肩の力を抜いて楽しんでもらうために『参加しよう 笑顔あふれる ぽぽらフェス』というキャッチフレーズを掲げました。その上で、自分たちが出展していることの意味を再確認してもらい、笑顔で接客するからこそ来場者の反応を引き出せるということを伝えてきました。

また、こどもが楽しめるブースを分かりやすくしたことで小中学生が繰り返し参加してくれる様子も見られ、昨年度の反省を生かしながら良くなったと実感しています。

うまくいった要因は何でしょうか？

初年度は実行委員もお互い初対面で手探りだったけど、3年間継続して気心が知れてきた。事務局とも呼吸が合うようになったこと

は大きい。私のわがままも聞いてもらったしね（笑）。私も最初は保守的だったけれど、実行委員がチームとして動いていく過程で、2024年度頃から冒険できるようになった。報告書を見ても「ゆっくり話を聞いてもらえた」という声や具体的な来場者数を挙げる団体が増えていて、達成感を感じています。

ここから先の実行委員会はどのようにしていったらよいと思いますか？

3年かけて今の形が定着しちゃったから、いきなり規模を縮小したり変えたりするのは難しい。「誰が次にバトンを繋ぐのか」と

参加団体アンケートの結果（回答 n=44）

1. 目標は達成されましたか？
一部または十分達成したと感じた・・・ **98%**
2. 今回ぽぽらフェスティバルに参加して満足しましたか？
満足できた・十分満足できた・・・ **94%**
3. 来年も同様のイベントがあれば参加しようと思えますか？
来年も参加したい・・・ **93%**



いう人づくりの課題は深刻だ。出展団体の皆さんには「自分の団体が（場所を）使えばいい」という意識から一歩踏み出してほしいと思います。市民活動センターの登録団体である以上、自分たちの活動をどう市民に還元していくのか、全体からそれを考える役割を担ってほしいです。「継承」は本当に難しい問題ですが、時代に合わせて考えていくしかないかなと思います。

取材協力 運営パートナー 鹿沼英雄さん



実行委員特別企画

イベントはみんなで、楽しく！



ふれあいキューブ 3F に突如現れた「サンタツリー」。フェスティバル当日は老若男女たくさんの方が立ち寄り、素敵なメッセージを書き込んでくれたこの企画、実は元々の計画にはなかったもの。実行委員の皆さんと共に企画を担った事務局スタッフに企画の裏側を特別に教えてもらいました！

企画のきっかけは？

フェスティバルへの出展希望の受付を終了した時点で、今年は3Fスペースに出展する団体がいないことが分かり、実行委員会で「なんとかしよう！」という声が上がりました。

何が問題だったのでしょうか？

3Fに何も仕掛けがないと、1-2Fのイベントに参加した来場者が階段を登って4Fに来てくれないのではないかと、施設全体の回遊性が損なわれるのではないかと懸念がありました。

サンタツリーのアイデアはどこから？

「春日部おもちゃの病院」からたくさんサンタ折り紙を譲り受けたことがきっかけとなり、クリスマス飾りや「参加しよう 笑顔で」というキャッチフレーズに沿った参加型の仕掛けとして企画されました。結果的に昨年の3F来場者数を上回る楽しいイベントになりうれしく思っています。



シンポジウム
協働

無料
要予約

市民活動シンポジウム

自治会 × 市民活動の可能性 2/14（土）13:30 - 16:30（開場 13:00）

会場：ぽぽら春日部 会議室1・2（埼玉県春日部市南1-1-7）
定員：50名（申込先着順・参加無料）
対象：自治会活動、市民活動に関心のある方
申込：下記QRコードよりお申込み下さい



彩の国市民活動サポートセンター（たまサポ）とぽぽら春日部は、「自治会と市民活動の協働」をテーマに、市民活動シンポジウムを開催します。当日は埼玉県立大学の小川孔美先生による基調講演の他にも、優良事例として表彰された春日部の金崎区の取り組みやNPO法人メイあさかセンターの活動事例の発表も。これからの自治会活動や地域の連携を考えるためのヒントを探している方はぜひご参加ください。



基調講演



『地域のつながりをどう守る？どう広げる？』
～デジタルと人の力でつくる多世代の支え合い～
埼玉県立大学
社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 准教授
小川 孔美氏

看護師・社会福祉士の知見を生かした高齢者福祉や虐待防止、専門職連携の実践教育が専門

事例発表

- ①『つながる、ひろがる地域の絆 ～二人三脚で実現できたこと～』
金崎区 区長 中田 猛氏
金崎区環境整備会 石崎 純一氏
- ②『メイあさかセンター 多様なスマホ出前講座』
認定・埼玉県指定 NPO 法人 メイあさかセンター
森本 剛志氏

ファシリテーター



たまサポ（彩の国市民活動サポートセンター）コーディネーター
NPO 法人川越きもの散歩代表
東京国際大学非常勤講師
藤井 美登利氏



ホウコク

セミナー

資金調達

市民活動講座

「はじめての助成金セミナー」を開催



昨年 11 月 22 日に、助成金の基礎から申請書作成のコツまでを学ぶ「はじめての助成金セミナー」を開催。市民活動に取り組む 16 名の参加者が熱心にメモを取りながら受講しました。講師の「市民活動は楽しむことが第一。そのうえで助成金を活用し、持続可能な団体をめざす」という言葉を通して、改めて自身の活動や想いを見つめ直す時間となりました。

参加者同士の対話も活発に行われ、事業パートナーと出会う偶然的なマッチングも生まれました。学びだけでなく人と人がつながる市民活動の可能性を感じる講座となりました。今後も交流の時間を充実させ、市民活動のさらなる広がりを後押しできる講座を開催していきたいと考えています。



ホウコク

セミナー

市民活動

春日部市ふれあい大学 出張講座

身の回りから考える市民活動



昨年 11 月 25 日と 26 日の 2 日間にわたって、春日部市ふれあい大学の授業にほばら春日部アドバイザーの市川が登壇しました。シニア層を中心に各回 50 名ほどの参加者が講義テーマの「市民活動」について理解を深める機会となりました。

講義では、実際に市内で活動する団体を例に挙げながら、その基本的な考え方や活動のはじめ方等を解説。参加者自身の興味や地域の課題を掘り下げるグループワークも行い、和気あいあいとした雰囲気の中で進められました。ひとりで始めるのは難しくても、誰かに話すことで動き出すことが実はたくさんあります。受講したふれあい大学の卒業生の中からも市民活動をはじめめるグループが生まれることを期待したいと思います。



オシラセ

情報発信

登録団体が続々と登場!

イベント

ほばらの月間イベント

2026 年もほばら春日部に登録する市民活動団体のイベントが目白押しです。今年の干支は「午(馬)」ですから、団体活動がウまくいくように、年明けから年末まで駆け抜けていきましょう!

関心のあるイベントがあればぜひご参加ください

※詳しくは右記の QR コードから



オシラセ

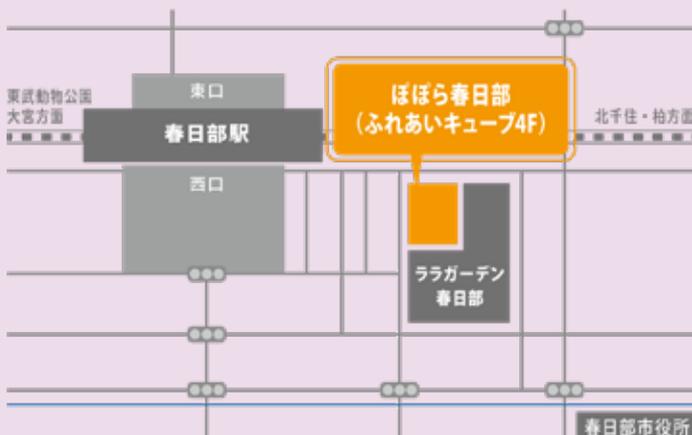
新規登録団体情報

新規に登録された団体をご紹介します。センターには多くの市民活動団体が登録されています。団体同士の交流やマッチングを希望される方はいつでもセンター窓口にお問い合わせください。



活動内容は
こちらから

- Word すずらの会 ● 健康いきいきクラブ ● 春日部玉藻
- 特定非営利活動法人 3 ぶんの 1 ● 春日部ココトモの会
- ひかりのトピラ (順不同)



※東武スカイツリーライン/アーバンパークライン「春日部駅」下車。西口徒歩 5 分。

※駐車場 (有料) は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

イベント・セミナーのお申し込み・お問い合わせはこちらから

☎ 048-731-3550

✉ popola@kasukabehall.jp

春日部市市民活動センター (ほばら春日部)

年中無休 (年末年始を除く) 9:00 ~ 21:30

〒344-8578 埼玉県春日部市南 1-1-7 ふれあいキューブ 4 階

HP



※当施設の会議室を利用するには、「団体登録」が必要となります。詳しくは HP をご覧ください。ただか、上記窓口にお問い合わせください。

※交流・ミーティングスペース、キッズスペースなどは、団体登録なしにどなたでもご自由にご利用いただけます。